

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	クジラくらぶ				公表日	令和 7年 2月 25日
	チェック項目	はい	いいえ	わからない	改善目標・工夫している点など	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ままごとのできるコーナー遊びのスペースを作ったり、静と動の活動の場を分けるようにしています。</li> <li>・今後、児童のニーズにあわせてレイアウトを変えたり変化に対応していきます。</li> </ul>
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の配置基準を遵守した配置を行っていますが、個別対応が必要な児童の対応には不十分だとの意見が多かったです。今後、余裕のある体制を目指し、職員の増員に努めます。</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内は概ねバリアフリーになっており、車椅子や歩行器の移動にも配慮しています。</li> <li>・発達支援室内は視覚で確認できるよう、絵表示がされています。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の清掃、消毒を徹底し、清潔な環境に気を付けています。</li> </ul>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調不良の時やクールダウンが必要な場合の個室を設けています。</li> </ul>
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画に沿ってケース会議を行っています。</li> <li>今後まだ参加していない職員にも会議に入ってもらい、全員参加の療育にしていきたいと思えます。</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方の評価を活かせるよう、ミーティングで改善策を話し合っています。</li> </ul>
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		1	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	1	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に3回は外部講師を招いて全体研修を行っています。</li> <li>その他、各種研修会に参加し、職員のスキルアップに努めています。</li> </ul>
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPで公表しています。</li> <li>・必要に応じてプログラムの修正を適宜行うと共に、支援計画や療育に活かしていきます。</li> </ul>
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回のスタッフミーティングで情報共有をしています。</li> </ul>
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画は共有できるようにしていますが、把握できていないこともありました。</li> <li>今後は計画に沿った支援を心掛けていきます。</li> </ul>
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	5	1	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインがいつでも確認できるよう、休憩室にカードにして設置しています。</li> <li>個々で確認し、適切な支援に繋がっていきます。</li> </ul>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の活動計画をもとに、四季を感じられるプログラムを考えています。</li> <li>子供たちが新鮮な気持ちで楽しめるように、都度職員間で話し合い、アイデアを出し合っています。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2	1	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の状況をみながら、個別と集団の必要性を考慮したうえで計画を作成し、支援しています。</li> </ul>

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	4	2	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	6		・気になることや連絡はその日のうちに職員間で共有し、不在の職員にも連絡ノートで伝わるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		2	・半年に1回計画の見直しを行っています。 モニタリング以外でも必要に応じて保護者の方との面談を行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	2	3	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		1	・指示待ちにならないよう、見守りをするように心掛けています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	2	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		・いつもと様子が違う際には担任の先生から電話をもらうこともあります。 気にかかることがあれば学校と情報共有しています。 ・年間行事はホームページで確認し、不明な場合は学校に問い合わせています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	3	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		3	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	1	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		9		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	1	・周南市地域自立支援協議会に法人として参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			・日々の様子は送迎時や連絡帳でお知らせし、気になることがあれば電話で情報共有しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	2	・職員間で情報共有や研修を行い、全職員が対応、支援できるように努めます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	1	・丁寧に説明することを心掛けています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	1	・送迎時や連絡帳、面談で随時こどもや家族の意向を確認するようにしています。 今後も保護者の方とコミュニケーションを取りながら支援に努めていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	1	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	1	・送迎時や電話対応、必要に応じて面談を行っています。 保護者の方が気軽に相談できるよう、気になることがあれば声掛けをすることもあります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		9		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			・ご意見箱を玄関に設置しています。 苦情があった場合は迅速、丁寧に対応し、苦情相談受付票に記録しています。 また、情報は職員間で共有し、再発防止に努めていきます。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			・会報誌「ボレボレ通信」で活動の様子や事業所からのお知らせを発信しています。 またホームページでも情報開示や予定表、ブログの更新をしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			・取り扱いには配慮し、個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			・特性等を把握、理解したうえで関わるように配慮しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		2	・保護者の方からの情報をもとに確認し、職員間で情報共有しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	2	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	2		・危険な事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			・内部研修を定期的実施しています。 ・交代で外部研修にも参加し、全職員への伝達研修もしています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			・今後やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合には、保護者の方としっかり面談をし、了解を得たうえで個別支援計画に記載、支援内容を記録する体制を整えていきます。	

※おわりに

非常勤の職員にはわかりにくい質問もあったようなので、ミーティングで質問の内容を説明し、話し合いました。

クジラクラブの全職員が事業所について考える貴重な時間となりました。より一層、質の高いサービスを提供できるよう、努めていきます。